

青森市新町商店街振興組合

青森県青森市

<http://www.jomon.ne.jp/~sinmati1/>



組合概要

発足年 1976年(昭和51年)

組合員数 113店

組合の組織

組合役員数：22名

出資金：一口 10,000円

賦課金：月 19,176円

組合員構成

生鮮食品等：4店 / 特定加工食品：5店 / 総合食料品：2店 / 食料品以外：102店

「人と緑にやさしいまち」を目指す、四季折々にイベントを展開する商店街

[高齢者の多い街に対応した街づくり]

当商店街は、JR青森駅を起点として東側に延びる新町通りの両サイドに展開する商店街である。商店街施設としては、雪国にあってアーケードは必須施設と言え、滑りにくい舗装を含め、快適な商業空間を提供している。福祉対応型の商店街としてのコンセプトを元に、高齢者・障害者への対応として約100mごとにベンチを設置し、バリアフリー対策として行政との連携で歩車道の段差解消を図っている。また、「人と緑にやさしいまち」づくりの下に、バリアフリーの街路整備後のソフト事業として、「お買いもの宅配事業」「タウン・モビリティ事業」（電動スクーターや車いすの貸し出し）、青森商工会議所によるレンタサイクル事業などを展開している。



青森らしい街路樹として、ヒメリンゴ・アルプス乙女といったリンゴの樹木を植え、5月の開花と10月の結実・紅葉と2度楽しめるようにしている。商店街内にアートパネルを32か所設置しており、各種アート作品の展示のほか、商店街からのお知らせも掲示している。また、中心商店街の活動拠点として「まちまちプラザ」を開設しており、イベント時の活動拠点となってい



るほか、イベント情報の発信を行っている。

地産地消連携事業として、産直市や地域資源の「食」を生かした地産地消食堂を展開することで、地元客のみならず、新幹線開業効果による観光客・ビジネス客にもアピールし、商店街活性化にもつなげている。郊外の大型商業施設との価格競争は厳しいことから、「一店逸品運動」事業として各店から専門店ならではの「一押しのおすすめ商品」を前面に売り込むマーチャンダイジングに取り組んでいる。

〔四季折々のイベント〕

商店街の活性化のため、四季折々にイベントを展開しており、観光客が最も多い「ねぶた祭り」に農産物の加工品や地元食材を使ったB級グルメの飲食を提供し、秋には「大地の感謝祭：しんまち新鮮産直市」を開催し、農林水産物及び加工品、B級グルメの飲食を提供することで、地元民のみならず観光客・ビジネス客にも青森の食産業をアピールしている。

また、地産地消食堂ということで春のイベントやビアガーデンでの地元食文化の提供、ハロウィン



パレード&セール事業などを展開している。更に、若い世代による自己表現の発表の場として「新町商店街文化祭：部活動」を空き店舗において開催し、新しい試みとして注目を集めている。このほか、スタンプ事業を行っており、紙のスタンプを台紙に張ってもらうという一般的なものであるが、毎月の「レシートでガラボン」抽選会や2倍セール、10倍セールなどの販促を実施している。

更に、ホームページを開設し、商店街の各種情報を発信している。

【その他の商店街活動】

商店街運営の向上に資するため、県商店街組合連合会主催の青年部視察交流会・女性部視察セミナーへの参加、他県の商店街組合との交流、県中小企業青年中央会による他業種の青年部同士の交流、県中央会の補助事業を利用したインターネット活用講習会や一店逸品運動における販促講習会などを開催している。
